

1. 三重県広報コンクール 特選作品の講評

(1) 広報紙(市部)

特選 いなべ市 (いなべ市情報誌 Link 1月号) [平成29年12月1日発行]

■評価された点

写真の撮り方やその質、特集のまとめ方、デザインなど、どれをとっても素晴らしく、読むのが楽しいと感じられる紙面づくりがなされています。空間を上手に使った、洗練された広報紙と感じました。

限られた紙面の中で伝えたいことを厳選している姿勢が見て取れます。記事内容に合わせて文字フォントやサイズを的確に使い分けているので読みやすいです。自分たちが表現したいこと、伝えたいことが実現できていると思います。

(2) 広報紙(町部)

特選 度会町 (広報わたらい 1月号)

■評価された点

特集「明日の災害に今備える」では、取材を重ね、しっかりとした構成で紙面を作られています。行政の広報紙で、「防災」は必ず取り上げられるテーマですが、実際に被災地を訪問し、取材をされているのは素晴らしいです。熊本市役所に派遣された度会町職員のインタビューもあり、真実味と臨場感のある内容で読みごたえがあります。

写真も非常に上手に撮影されており、きれいな写真を選んでいると思います。

(3) 広報写真(一枚写真部)

特選 いなべ市 (いなべ市情報誌 Link 1月号・表紙) [平成29年12月1日発行]

■評価された点

屋奉(やほ)松明神事での「屋奉振り」の迫力と躍動感が伝わる一枚。懸命に屋奉を振る女児の表情、体の動き、光の描写、背景に少しだけ浮かび上がった手提げ提灯などがとても印象深く、かつ美しく祭りの様子を表現しています。

真っ暗でピントを合わせるのも難しい状況の中、火のあかりを生かして、計算して撮影されています。非常に高い技術と一瞬のシャッターチャンスをつかむ感性をもっておられ、撮影者の日頃からの努力やこの一枚にかけた情熱が伝わってきます。

(4) 広報写真(組み写真部)

特選 いなべ市 (いなべ市情報誌 Link 10月号・2～3ページ)

■評価された点

組み写真の概念に合致した作品で、「八幡祭」の様子が非常に迫力ある絵で捉えられています。人物の表情からも祭りの熱気が伝わってきました。流し撮りもうまく成功しており、躍動感があります。

レイアウト面でも、タイトルなどの文字を斜めにして動きを出す、写真の良さを壊さないようにキャプションをまとめて記載する、バックを黒で締めて雰囲気高めるなど、うまくデザインされており、画面変化の素晴らしい迫力があります。ところどころ写真の枠から飛び出した切り抜きが面白いです。

(5) 映像

特選 いなべ市 (いいかげんな街 いなべ)

■評価された点

コメディタッチで素朴にいなべの良さを表現しています。一般的な市の紹介映像に多くみられる「説明型」ではなく、「ドラマ仕立て」にするなど、視聴者の方に見てもらえるような工夫がなされていて素晴らしいです。市職員がその地域を勉強する姿に好感が持てます。

ドローンやスライダーの使用、淡い印象的な色合いにカラーグレーディングすることなどにより、味わい深い作品に仕上がっていると思います。

「いい」ネタバレをしており、ホッとさせる感覚表現が巧みです。

2. 応募作品数

県内 29 市町のうち、18 市町 52 点の応募がありました。

媒体(部門)	応募市町数	応募作品数	(参考) 昨年度の応募数
広報紙(市部)	11市	11紙	12紙
広報紙(町部)	4町	4紙	5紙
広報写真(一枚写真部)	14市町	18点	15点
広報写真(組み写真部)	8市町	9点	9点
映像	10市町	10点	9点

【参 考】三重県広報コンクールおよび全国広報コンクールの概要

○三重県広報コンクール（三重県広報協会）

毎年、県内市町の広報技術、情報発信力の向上を図るために実施する。また、当コンクールは全国広報コンクールの県予選を兼ねている。

○全国広報コンクール（主催：公益社団法人日本広報協会）

地方自治体等の広報活動の向上に資するため、各種広報作品についてコンクールを行い、優秀な作品を表彰する。